

# クリスマスレシピ<sup>o</sup> ポリビア料理

## エンパナーダデケソ (ジャンボ餃子)

12月3日料理教室で実演

材料 4人前	小麦粉 400g
	A 塩 少々 砂糖 小さじ1
	B 卵s 一個 油 60cc
	ぬるま湯 80cc
	ピザ用ミックスチーズ 揚げ用の油 粉砂糖

### 作り方



- ①ぬるま湯にA塩 砂糖を入れ混ぜる
- ②ボールにふるいにかけて小麦粉を入れ真ん中を少しくぼませる。
- ③くぼんだところへ Bの卵 油を入れよく混ぜる
- ④手につかなくなったら、2センチくらいの団子に丸める
- ⑤10分くらい置いておく。
- ⑥めん棒で団子を餃子の皮のようにのばす。
- ⑦真ん中にチーズを乗せて、つまんで 留める  
(ここでここが難しい所で30日に練習します)  
フォークで、とめる方法もあります。
- ⑧フライパンに油を入れ180度位の温度で揚げ、ふくらんでキツネ色になったら油からとります。
- ⑧さめてから粉砂糖をふるう

完成



## 教会のクリスマス行事



- 12月14日(日) こどもクリスマス 13:30~
- 12月21日(日) クリスマス礼拝 10:30~  
愛さん会 12:30~
- 12月24日(水) キャンドルサービス 19:30~


**クリシタン大名 11月30日(日)**  
**ビデオ鑑賞会 13:30~15:00**

**特別企画**

**料理教室 12月3日(水)**  
13時~15時  
クリスマスレシピの「エンパナーダデケソ」を作ります。試食(ティータイム)とクリスマスバイブルタイム付 材料費200円  
参加者は事前にお電話下さい。

**くつろぎの空間 (教会の子育て支援広場)**  
毎月第4火曜日 11:00~14:00(原則)

生後5ヶ月からOK バイブルタイム  
ランチタイム(無料) 助産師の発育相談




## 日本同盟基督教団 子母口キリスト教会



発行 牧師 小岩井 信  
編集 213-0023 川崎市高津区子母口776  
TEL044-766-0181 FAX044-766-2157  
e-mail [shibokuchi@church.jp](mailto:shibokuchi@church.jp)  
<http://shibokuti.church.jp/>

## 子母口キリスト教会

# チャペル通信

2014年 93号 クリスマス号

クリスマスストーリー  
黒田官兵衛を巡るクリシタンの世界 その4  
クリスマスレシピ



いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に平和が、御心にかなう人々にあるように ルカの福音書2章14節

## 「救い主」誕生の預言

見よ。その日が来る—主の御告げ—その日わたしはダビデに一つの正しい若枝を起こす。彼は王となって治め、栄えて、この国に公義と正義を行う。その日ユダは救われ、イスラエルは安らかに住む。

エレミヤ23章5—

今から2千年前、ローマ帝国の属国であったユダヤの地ではローマにうまく取り入って王の座にいたのはヘロデでした。彼は王の座を脅かす救い主の誕生を非常におそれていました。民衆はローマの重い税金に苦しみ、「救い主」がこの支配を打ち破って下さると期待していました、

ユダヤの預言者マラキに預言が与えられて400年の時がたちました。誠実に神に仕えていた祭司ザカリヤに神様は沈黙を破り、神の壮大な計画を伝えました。年老いた妻に子供が与えられ、その子は救い主到来に備えて民を整えるという知らせでした。神の言葉を信じられないザカリヤは子供（ヨハネ）が生まれるまでは口がきけなくまっせまっせそれから半年後小さな田舎町ナザレで、ヨセフとの結婚が決まっていた処女マリヤにも、天使によって神の言葉が伝えられました。

## キリストの誕生

こわがることはありません。あなたは神から恵みを受けたのです。ご覧なさい。あなたは身ごもって男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。

ルカ1章30—31節



マリヤのおなかがいよいよ大きくなった頃、ローマ皇帝の命令で先祖の町に戻って住民登録にいかねばならなくなりました。

200キロ近い道りを徒歩で歩く危険な旅の中で、二人は愛を深めていきました。ベツレヘムの宿屋は満室で、ロバや羊のひしめく家畜小屋の洞穴でマリヤは神の子救い主を出産します。

キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。

ピリピ人への手紙2章6節

## 救い主の真の姿



2千年まえ、平凡で貧しい一組の夫婦に誕生した、幼子。その誕生を今も世界中で祝うのは何故でしょう・

神は実にそのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者がひとりとして

滅びることなく、永遠の命を得るためである。

ヨハネの福音書3章16節

キリストは当時の民衆やヘロデが想像していたようなユダヤという一国を治め、人々を悪政から解放するという限定的な地上の「王」＝「救い主」では有りませんでした。

当時の人だけでなく、今を生きる私達を根本的に救ってくださる「救い主」なのであり全世界を永遠に統治される「王」なのです。キリストは私達を罪から救って下さる救い主なのです。

写真提供 ライフクリエーション

## 黒田官兵衛を巡るキリシタンの世界その4 クリスマス編 信長時代にクリスマス休戦があった！



黒田官兵衛もいよいよ最終コーナを周りました。天下分け目の関ヶ原の戦いではキリシタン大名も敵見方に分かれて戦うことになってしまいます。戦国時代最初のクリスマス休戦が日本であった

のです。一部で信長がした様に報道されましたが、それは事実ではありません。堺での松永久秀と三好三人衆との戦いでのことでした。宣教師フロイスは当時の出来事を克明に記しました。又この時代の絵画も残されています。(写真は1585年頃に京都のセミナリオで書かれた信長像です。明治になって写真に残したのち火事で焼失しています。)

降誕祭になった時、折から堺の市（まち）には敵対する2つの軍勢がおり、その中には大勢のキリシタンの武士たちが見受けられた。ところでキリシタン達は自分達がどれほど中が良く愛し合っているかを異教徒たちによりよくしめそうとして、司祭館は非常に小さかったので、そこの町内の人々に、住民が会合所に充てていた大広間を賃借りしたいと申しでた。その部屋は降誕祭にふさわしく飾られ、聖夜には一同がそこに参集した。

そこでかれらは告白し、ミサに与かり、説教を聞き、準備が出来ていた人々は聖体を拝領し正午には

一同は正装して戻ってきた。その中には70名の武士がおり、互いに敵対する軍勢から来ていたにもかかわらず、あたかも同一の国守の家臣であるかのように、お互いに大いなる愛情と礼節をもって応援した。彼らは自分自身の家から多くの料理を持参させて違いに招きあったが、すべては生前としており、清潔であって、驚嘆に値した。その際給仕したのは、それらの武士の子息で、デウスのことについて、よき会話を交えたり、歌を歌ってその日の午後を通じで過ごした。

(中公文庫完訳フロイス日本史2)より